

令和7年度

橋 梁 点 檢 技 術 研 修 会 募 集 要 項

継続学習制度（C P D S）認定研修

登録番号 9 7 3 3 3 7

ユニット数：1 3 unit

開催日程

令和7年5月28日（水）から

令和7年5月30日（金）までの3日間

研修会場

アスパム 4階会議室「十和田」

現地研修

青森県内現地研修対象橋梁

(公財)青森県建設技術センター

橋梁点検技術研修会募集要項

この研修会は、青森県が制定する「青森県橋梁アセットマネジメント運営マニュアル」に基づいた橋梁定期点検に必要な技術の習得を主眼に実施するものである。

記

I. 研修会の内容

1. 目的

橋梁の細部にわたる異常や損傷を発見するとともに劣化・損傷の発見、劣化機構の推定、健全度評価を行うことのできる橋梁点検技術者を養成することを目的とする。

2. 日時

令和7年5月28日(水)午前10時30分～5月30日(金)午後1時頃

3. 研修内容

詳細：別紙-1 橋梁点検技術研修会プログラム

4. 会場

① 令和7年5月28日・29日 : アスパム 4階会議室「十和田」(別紙-2)

② 令和7年5月30日 : 青森県内現地研修対象橋梁

※5月28日、29日アスパム駐車場ご利用の方には半額券を差し上げます。

但し、5月30日はアスパム駐車場半額券はありませんのでご了承下さい。

5. 受講資格

土木施工管理・設計に関する実務経験年数が下表を満たす者。

学歴区分※1	土木施工管理・設計に関する実務経験年数	
	指定学科※2	指定学科以外
大学卒業者	1年以上	1年6ヶ月以上
短期大学卒業者	2年以上	3年以上
<u>高等専門学校(5年制)卒業者</u>	3年以上	4年6ヶ月以上
高等学校卒業者		
その他の者	8年以上	

※1 学校教育法によらない専門学校、訓練校は最終学歴にはなりません。

※2 指定学科：国土交通省で定める学科及びそれに準ずると認める学科(別紙-3)

6. 定員

40名 (1社からの申込は1名までとさせて頂きます。)

7. 受講料及びテキスト代

- 受講料：40,000円/人(テキスト代、消費税含む)

8. 試験

筆記試験

橋梁構造の基本的な知識に関する事。

橋梁の点検及び健全度評価、劣化機構の推定等研修内容に関する事。

実地試験

青森県内の実橋を点検のうえ点検調書作成

9. 国土交通省登録資格交付

- 全ての講義を受講(遅刻、早退は認めません)し、筆記試験及び実地試験の結果から資格認定委員会で認定された方に「橋梁AM点検士(道路部門)」登録証(有効期間：発行日から令和12年度末)を交付します。交付後は有効期間内での更新研修の受講が必要です。有効期限を過ぎた場合は、登録証は失効となります。

II. 申込み方法

1. 申込み方法

- ・ 「受講申込書（別紙-4）、実務経験証明書（別紙-5）」に必要事項を記入の上、返信用封筒（返信先記入、84円切手貼付、長3版）を同封して下記申込み先（VI.事務局）に送付して下さい。
- ・ 受講申込書に写真（申込み前3ヶ月以内に脱帽のうえ正面から撮影した胸から上の写真）を1枚貼付けし、その他に修了証に貼付けする写真を1枚同封して下さい。写真をクリップ等ではさむと写真が歪んだり傷がつきますので封筒等に入れて同封してください。
- ・ 写真のサイズは、縦30mm×横24mmで、カラー写真。また、写真裏側に氏名・所属会社名を記入してください。
- ・ 送付する封筒正面に「橋梁点検技術研修会受講申込書」と記入して下さい。
- ・ 申込みは個人毎にお願いします。
- ・ 必要書類は、当センターホームページ※から[受講申込書、実務経験証明書]をダウンロードして使用してください。

※(公財)青森県建設技術センターホームページ URL : <http://www.akgc.or.jp/>

2. 申込み期間

令和7年4月21日(月)～5月2日(金)

この期間の到着分のみ受付します。期間前に到着した場合は受付しません。

定員を超えた場合は抽選で受講者を決定します。

III. 受講者決定後の手続き

1. 受講者の決定

- ・ 申込み締め切り後に、受講決定者には受講決定通知書を発送します。

2. 受講料の納付

- ・ 受講決定者は受講料（テキスト代、消費税含む）を納期限までに当センター指定銀行口座へ振り込みして下さい。

また、事前に入金が確認できない場合は、受講資格を取り消します。

- ・ 研修会当日欠席された方には、受講料は返金できませんのでご注意ください。
但し、研修会に使用しましたテキストは郵送させていただきます。

3. 受講者の受付

- ・ 研修会の当日、受講決定通知書が受講票となりますので必ずお持ち下さい。

4. 注意事項

- ・ 受講者の変更はできません。
- ・ 受講料振り込み後のキャンセルは欠席扱いとなります。その際は受講料の返金はできませんのでご注意ください。
- ・ 研修当日は下記をお持ちください
筆記用具、ヘルメット（現地研修）

IV. 使用テキスト（研修会初日に配布します。）

- ・ 青森県の橋梁アセットマネジメント
- ・ 橋梁点検技術研修会テキスト
- ・ 青森県橋梁アセットマネジメント運営マニュアル抜粋 点検・調査編、同資料
 - ・・・青森県県土整備部
- ・ 橋梁点検ハンドブック（1）橋梁点検のポイント
 - ・・RPI（一財）大阪地域計画研究所BMSコンソーシアム
- ・ 橋梁点検ハンドブック（2）定期点検の手引き
 - ・・RPI（一財）大阪地域計画研究所BMSコンソーシアム

V. CPDSについて

- ・本研修会はCPDS認定プログラムとして承認されています。
- ・プログラム登録番号は「973337」です。
- ・ユニット数は「13unit」となります。
- ・3日間全て出席された方に受講証明書を配付します。
- ・学習プログラムは各自で申請して下さい。

VI. 研修事務局

1. 申込み先

(公財) 青森県建設技術センター
〒030-0822
青森市中央三丁目21—9
TEL : 017-718-4181 FAX : 017-777-6646
担当者 試験・研修部：堀内

橋梁点検技術研修会プログラム

第1日目 5月28日(水) 研修会場：アスパム 4階会議室「十和田」		
時間	内容	講師
10:30~10:45	オリエンテーション	
10:45~12:00	青森県の橋梁アセットマネジメント	青森県国土整備部道路課 橋梁・アセット推進グループ
12:00~13:00	昼 食	
13:00~14:30	橋梁点検のポイント	(一財) 大阪地域計画研究所 主席研究委員 千葉 陽子
14:40~16:40	コンクリート橋の点検（下部工の点検を含む）	
第2日目 5月29日(木) 研修会場：アスパム 4階会議室「十和田」		
9:30~11:30	鋼橋の点検	(一社) 日本構造物診断技術協会 元広報委員 黒川 浩
11:30~12:30	昼 食	
12:30~14:00	橋梁点検の実務(点検作業の手順)	青森県国土整備部道路課 橋梁・アセット推進グループ
14:10~16:00	筆記試験(橋梁構造の基本、点検の知識)	受講者
第3日目 5月30日(金) 県内現地研修（ヘルメット着用必須）		
08:40~09:00	集 合	
09:00~10:00	現地へ移動（バス）	
10:00~10:10	実地試験 現地研修	事前説明
10:10~11:30		実橋の点検
11:30~12:30	現地から移動（バス）解散	受講者

※ 都合により講師、プログラム等一部変更する場合があります。

研修会会場について

研修会場：アスパム 4階 十和田
青森市安方 1-1-40

Tel : 017-735-5311(代)



指 定 学 科 に つ い て

【表1】国土交通省令で定める学科及びそれに準ずると認める学科

学校教育法による次の学校に共通する指定学科です。

- 大学
- 短期大学
- 高等専門学校(5年制)
- 専門学校(専門士または高度専門士の称号を付与された方に限る)
- 高等学校・中等教育学校(中高一貫6年)

学 科 コ ー ド		指 定 学 科		
0 1	土木(工学)科	開発工学科	海洋開発(工学)科	海洋工学科
	海洋土木工学科	環境開発科	環境建設科	環境整備工学科
	環境設計工学科	環境土木科	建設(工学)科	建設環境工学科
	建設技術科	建設基礎工学科	建設工業科	建設システム(工学)科
	建築土木科	構造工学科	資源開発工学科	社会開発工学科
	社会建設工学科	水工土木(工)学科	地質工学科	土木海洋工学科
	土木環境工学科	土木建設工学科	土木建築(工学)科	土本地質科
0 2	農業土木(学)科	生活環境科学科	生産環境工学科	地域開発科学科
	農業開発科	農業技術学科		
	農林工学科	農林土木科		
	農業工学科(ただし、東京農工大学・島根大学・岡山大学及び宮崎大学以外については、農業機械学専攻、専修又はコースを除く)			
	学科名に関係なく生産環境工学コース・講座・専修・専攻			
0 3	森林土木(学)科	森林工学科	林業工学科	林業土木科
	鉱山土木学科			
0 5	砂防学科			
0 6	治山学科			
0 7	都市工学科	環境都市工学科	都市システム(工学)科	
0 8	衛生工学科	環境(工学)科	空調設備科	設備工学科
	設備(工業)科	設備システム科		
0 9	交通工学科			
1 0	建築(学)科	環境計画学科	建築工学科	建築システム科
	建築設備工学科	建築第二学科	住居科	住居デザイン科
	造形工学科			
1 1	緑地(学)科	環境緑化科	環境緑地科	緑地園芸科
	緑地工学科	緑地土木科	林業緑地科	
	造園(学)科	環境造園科	造園工学科	造園デザイン(工学)科
	造園土木科	造園緑地科	造園林学科	

橋梁点検技術研修会受講申込書

(公財)青森県建設技術センター 理事長 殿

フリガナ				整理番号	※	
氏名						
生年月日	昭和 年 月 日 (歳)			性別	男 女	
自宅所	〒 -					
	本籍地	都道府県		電話番号		
勤務先	住所	〒 -				
	フリガナ					
	名称					
	部課名等			電話番号		
最終学歴 注1	学校名及び 学部(科)名					
	在学期間	年 月 ~ 年 月				

注1 学校教育法(5年制)によらない専門学校、訓練校は最終学歴にはなりません。

注2 ※印の欄は記入しないで下さい。

橋梁点検技術研修会写真票

フリガナ					
氏名					
受講番号		※			
写真添付欄		写真添付欄 たて3.0cm よこ2.4cm 1.全体に糊付けして下さい。 2.はがれる恐れがありますので、裏面に氏名を記入して下さい。			
		年 月 日 撮影			
出欠状況確認欄					
第1日目		午前	※		
		午後	※		
第2日目		午前	※		
		午後	※		
第3日目		午前	※		
		午後	※ -		
※					

実務経験証明書

(公財)青森県建設技術センター 理事長 殿

受講番号	※		
提出年月日			
氏名			
昭和・平成	年	月	日

注1 従事期間の合計が実務経験年数を満たすように記載して下さい。

注2 ※印の欄は記入しないで下さい。

平成・令和 年度から平成・令和 年度について、上記の通り相違ないことを証明します。

令和 年 月 日 会社の所在地

会　社　名

代 表 者 名

代表者印